

スクランプル

編集・発行：品川区大井第二地区スクランプル編集委員会

大井2-27-20 大井第二地域センター内 TEL(3772)2000 FAX(5709)7627

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会・山中小学校PTA・大井第一小学校PTA・伊藤学園PTA・伊藤中学校OG



十月から区内全域で「ごみ・資源の分別方法が変更され、本格運用がスタートします。平成十七年に「ごみの戸別収集が始まって以来の大変更です。『不燃ごみが激減！』しかも環境に優しい！』と聞いて、身近なエコ活動に発展するのはとの期待が高まりました。

詳しいお話を伺いに品川区清掃事務所の武田主査と市川技能長を訪ねました。



今後の不燃ごみはわずか数種(陶器、ガラス、金属、ポンベ等)

分別の主な変更点は?

一つめは、不燃ごみ扱いであった廃プラスチックのうち「汚れていない廃プラスチック」(プラスチック製の容器包装を示す「♻」が付いているもの)と、同じく不燃ごみ扱いであった蛍光灯のうち「割れていない蛍光灯」を資源として回収することです。これらを「資源の再生利用」と呼びます

二つめは「汚れた廃プラスチック」を不燃ごみとしてではなく、「燃やすごみ」として回収することです。これを「サーマルリサイクル」と呼びます。

ごみが資源に生まれ変わる

汚れていない廃プラスチックは、原料に戻す等して再度プラスチック製品とします。割れていない蛍光灯は業者に引き渡し、中に含まれている貴重なメタル成分を回収してパソコンや携帯電話等の部品に再利用します。

汚れた廃プラスチックは生ごみや紙くずと一緒に燃やし、熱エネルギーに変えて利用することができ

ます。

このように、従来なら埋立地の対象となっていた廃プラスチック等を、「資源の再生利用」や「サーマルリサイクル」に活用し、ごみの有効利用が図れるようになりました。最終処分場である埋立地の延命ができて、回収した熱エネルギーを電気に変えて工場の運転に使用する等のメリットも生まれました。ちなみに、余った電力は電力会社に売却するそうです。

一方、「サーマルリサイクル」の運用により、二酸化炭素のような温室効果ガスの排出が懸念されませんが、不燃ごみを埋立地まで運ぶ車の台数が減らせる等、トータルで見ればガス排出量が削減できると期待されています。



緑の下の力持ち 新設備

廃プラスチック等を回収して、「資源の再生利用」することは東京二十三区でも珍しい試みです。品川区の場合、リサイクル施設が比較的近く、施設までの搬入コストを考えると恵まれた立地にあります。しかし、「資源の再生利用」の作業には相当の時間と費用がかかるため、導入までの道のりは決して平坦なものではありませんでした。最終的には「将来を考えると環境保護に取り組まなければならない」との区の強い思いが、導入決断を後押ししました。

また、「サーマルリサイクル」の実施に先立ち、品川清掃工場が平成十八年に稼働しました。新工場では、ダイオキシン類の発生を抑制し、有害物質を取り除くための最新技術が導入されています。プラスチック製品だけではなく、ゴムや革製品を燃焼しても有害ガスを外部に出すことはほとんどありません。国の基準より厳しい規制値を独自に設けて周辺環境の調査を行う等、管理が徹底されています。

使える物は使うのが原則

廃プラスチックの汚れを落とし「資源の再生利用」に回しても、洗わずに「サーマルリサイクル」に回しても、どちらもごみの再利用になることがわかりました。

プラスチック容器のすずぎ洗いや分別の手作業をする事を面倒と思わずに行うことで、限りある資源を繰り返し使うことができるのなら、積極的に資源の再生利用を選びたいものです。「使えるものは使うのが原則」との武田主査のお言葉が印象に残りました。

品川区民は、住民のモラルが高く、戸別回収の効果に理解があり、「ゴミのマナー」が非常に良いとのこと。今回の分別変更を機に、使い捨て製品はなるべく買わない、物を大切に使う等、「ごみそのものを減らすための小さな運動を始めてみませんか」とごみ問題は地域の問題。住民と行政が一体になり、環境に優しいエコ社会を作り上げていきたいですね。

*** 体験談 ***

一足先に分別変更をスタートしたモデル地域にお住まいの方々に感想をお聞きました。

◆ 不燃ごみがほとんど出なくなったことに驚いています！「不燃ごみを出すのは月一回あるかないかです。」

◆ 「♻」が付いているものを資源「ごみ」にするようになって、その量の多さを改めて実感。環境を考えるときっかけになりました。

◆ 普段は資源ごみを一つの袋にためておき、回収時に分別しています。思ったよりも手間ではありませんよ。

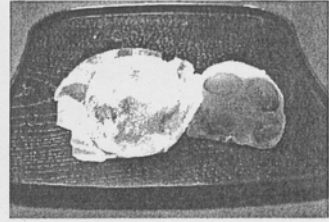
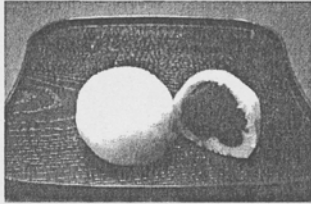
【瀬下・中沢】

発見! まちのグルメ 和菓子屋さん

大井第一小学校の程近く、池上通り沿いに開業昭和13年、今年で創業70年になる、和菓子屋さんがあります。

お店の人気商品は「じょうようまんじゅう」。

このまんじゅうの皮は山芋と米の粉と砂糖のみできています。ふわふわでしっとりした皮の中には上品な甘さの自家製練りあんがたっぷり入っていて美味。懐かしい気持ちにもさせてくれます。



オリジナル商品は「春日の里」。ぎゅうひで大粒のとら豆と白あんをくるんだ和菓子です。とら豆がぎっしり入っていて、食べ応えがありますが、あっさりした甘さが程よく広がります。

また、こちらのお店では時期によってその季節ならではの商品が並びます。春はさくらもち・草もち・柏餅。夏は水羊羹・くずざくら・あゆ。秋・冬は栗を使った栗蒸し羊羹と、一年中私たちを楽しませてくれます。

「これからの季節は栗蒸し羊羹がお勧めです。」とご主人。一つひとつ丁寧に心をこめて作られた和菓子を是非ご賞味あれ!

【石川裕】

そうだ、公園へ行こう。

ニ コドモ達・オトナ達に捧ぐ、身近な癒しスポット、公園の魅力再発見レポート =

⑤大井町緑地児童遊園 <大井1-7/1-21>

大井町駅西口ロータリーから、立会道路沿いに続く、木々の立ち並ぶ緑道形態の公園。



J 大井町駅からすぐの所に、細長い公園があるよね!

T 「花子と太郎」っていう猫の像があるトコだよな!

M あるある! ただ、小さい頃からこの公園のそばを通ったり遊んだりしたけど、公園の名前初めて知ったよ(笑)

J 改めて行ってみると、遊具はナイけど、所々にベンチがあって、ゆつくりできる空間だね☆
T 木陰が涼しげで、散歩にも良さそう!

M 春には桜も咲くし、ゆつくり話したり、お弁当を食べるのにもピッタリ! のんびりしたいときには、是非行ってみてね!

【上田・五十嵐・鈴木】

知ってたつもり?

第一回「滝王子児童センター」

意外と知らない
身近な施設を直撃



☆中高生のための

トランポンSP☆

「中高生の様々な活動を支援するための事業を実施し週2回は中高生を対象に20時まで開館時間が延長になります。」

児童センターといえば、午前は幼児クラブ、午後は小学生の遊び場というのが今までのイメージですよ。でも「すまいるスクール」の登場や子どもたちを取り巻く状況の変化によってその役割も幅広く多岐にわたってきているようです。今回は滝王子児童センターの根岸館長に直撃取材をしてみました。

Q: 最近の子どもたちの様子は?

「放課後はやはり子どもたちがたくさん来ています。大井第一・伊藤学園の小学生たち、また中学生も遊戯室で体を動かしたり、カードゲームに興じる子どもたちも今でもいますよ。」

Q: 一般の利用者は?

「午前のトランポリン、演劇サークル、ビーズクラブ、リトミックのサークルの活動は活発です。メンバー募集の案内は館内に掲示していますので、ご覧ください。閉館後夜の施設利用も盛況で、ダンスサークル、大井囃子などの利用があります。」

Q: 工事が始まる?

「耐震改修と21年度ティーンズプラザに向けての改修工事が、10月から3月まで入るので、「ご利用の方に不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。」

Q: ティーンズプラザ?

「中高生のような活動を支援するための事業を実施し週2回は中高生を対象に20時

Q: お知らせにも様々な活動がありますね

「今までの事業に加えて、昨年からはまった事業ではチャイルドステーション事業やすくすく赤ちゃん訪問事業がありますし、今年から始まった事業では、親育ち支援事業(親育ちワークショップ、父親子育て参加促進講座)があります。また、当館はサンデー子育てサポート事業を実施していますので、日曜日や祝日も開館しています。その時は、父親の来館がいつもより多いです。」

Q: きょうきょうりいは夏になりましたね。

「秋はいろいろな行事が重なるので昨年度から夏に行っています。大井囃子・ダンスの発表の場でもあり、子どもたちが企画・参加し、楽しめるおまつりとして今年も大賑わいでした。」



☆さくら夏まつり☆



Q: 館長が気になる最近の動きは?

「前出の通り、当センターは来年4月からティーンズプラザになります。ぜひ、中高生の居場所としてお気軽にご利用してください。また、中高生以外の方も今まで以上に利用していただきますようお願いいたします。」

*** **

今回感じたのは、児童センターで楽しく遊ぶ子どもたちの笑顔のためにいろいろな事業が行われ児童センターもたくさんの方々の役割を担っているのだなということです。児童センターの主役は子どもと子育て中の親。その子どもたちの笑顔が曇ることのないように私たちもお手伝いできたら・・・と思いました

【石川恵】